

ポジティブインパクトファイナンスをご利用いただいた事業者さまの サステナビリティ経営実現に向けたお取組み状況 (モニタリング結果の開示)

十六銀行 ソリューション営業部
十六総合研究所 コンサルティング部

当行のポジティブインパクトファイナンスは、2022 年 3 月の取扱い開始以降、2024 年 6 月末時点で 84 先の事業者さまにご利用いただきました。

十六銀行・十六総合研究所が作成した評価書につきましては、従来の財務諸表による定量面の分析のみならず、事業者さまの経営資源やサプライチェーンとの関係など定性面も詳しく分析することで、事業者さまのインパクトを丁寧に特定するよう努めてまいりました。このため、ご利用いただいた事業者さまからは、サステナブル経営の実現に向けた自社の現状を把握するための良い機会となったとお言葉をいただいております。

また、事業者さまと対話のうえ策定した KPI は、本業(事業者さまのお取扱いする商品・サービス)、環境問題、従業員さまの働きがいなど、幅広いテーマから設定しております。

なお、モニタリングを実施した 13 社さまにつきましては、本左下のレーダチャートのとおり、KPI 達成に向けて順調に取り組み始めていることを確認のうえ(※詳細は次頁以降をご覧ください)、必要に応じて、ビジネスマッチングなど KPI 達成に資するソリューションを提案しております。

今後、KPI を達成した事業者さまや、新たにポジティブインパクトファイナ

ンスをご利用いただく事業者さまに対して、追加的なインパクトを創出する KPI 設定の重要性を啓蒙するとともに、この達成に向けた継続的支援を通じて、事業者さまと共通価値の創造をはかり、持続的な成長を目指してまいります。



モニタリングを実施した 13 事業者さまの各 KPI に
関連する 17 のゴールの総数
のうち、達成・順調に進捗している各 KPI に
関連する 17 のゴールの総数

■モニタリングを実施した事業者さまおよび十六総合研究所のコメント

(1) 株式会社朝日土質設計コンサルタント

事業者さまのコメント
当社は2023年9月期においては、防災に関連する工事案件を積極的に受注するほか、地方公共団体との連携を密に行うなど、安全・安心に暮らせる街づくりの実現に注力してまいりました。 今後は、これまで以上の工事案件受注を画策する傍ら、若手人材の雇用機会創出にも努めてまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 防災に関連する工事案件に注力することによって、主に「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。 また、今後若手人材の雇用機会の創出に注力されることによって、「雇用」の点におけるポジティブインパクトの創出が期待されます。 当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(2) 株式会社 AVANTIA

事業者さまのコメント
当社は、中期経営計画 2025(2023 年 8 月期～2025 年 8 月期)に基づく SDGs・重要課題への取組みを KPI として設定し、企業価値向上向け取り組んでいます。 2023 年 8 月期は、建売住宅を中心に環境負荷低減や街づくりに資する住宅の供給に注力するほか、社内の管理職向け研修、女性管理職の積極登用など、環境・社会へのインパクト創出に努めてまいりました。 今後は、低炭素社会の実現に資する環境配慮住宅「AVANTIAO1」の供給率引上げなど事業活動を通じたサステナビリティへの取組みを加速させるとともに、経営理念である「時代の変化に適応し、社会に愛される企業となる」の実現に向け邁進してまいります。 取組みの詳細については当社の統合報告書をご覧ください。 統合報告書
十六総合研究所のコメント
当初設定した KPI 14 項目のうち、4 項目が「目標値を達成」、8 項目が「目標達成に向けて順調に推移」しています。 直近期では、新たに階層別研修を社内を導入し従業員育成体制の強化に取り組まれたほか、本業では環境配慮型住宅「AVANTIAO1」の普及に注力されたことを確認しております。これらの取組みによって、「雇用」や「住宅」など社会的な側面でのポジティブインパクトが創出されたと考えられます。 また、現状進捗状況が目標値を下回っている「温室効果ガス排出削減」や「女性活躍推進に向けた取組み」の2項目についても、継続的に節電や省エネルギーに努めていくこと、女性従業員の採用・教育の強化に取り組むことで、目標達成を目指していかれることを確認しております。 当初設定した KPI は概ね順調に推移しており、来年以降も引き続き同じ内容にてモニタリングを行う方針です。

(3) 加島工業株式会社

事業者さまのコメント
当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 9 月期においては、これまで蓄積してきたノウハウを活かし、民間・公共工事問わず、品質の高い仕事の提供に注力してまいりました。 多くの仕事を受注する一方で、当社の重要な経営資源である従業員の働き方改革を推進していくために、今後は、労災の絶無を目指しつつ、従業員の残業時間と仕事量のバランスに配慮するほか、資格取得支援にも注力し、当社一丸となって現代社会に不可欠なライフラインである「水」「空気」「電気」の維持に貢献できるよう努めてまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 品質の高い工事を提供し、地域のインフラを支えることによって主に「インフラ」や「水」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。 また、KPI については見直しを行い、「残業時間」に代わり、「毎年の労働災害発生 0 件」をあらためて設定し、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(4) 株式会社サンライズ

事業者さまのコメント
当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 10 月期においては、2024 年問題への対応を軸に各種取組みを進めてまいりました。特に優秀な人材の確保・育成という観点においては、新入社員に対して、代表者自ら、経営理念、サステナビリティ方針、コンプライアンスなどをレクチャーする場を設け、人材の定着に努めています。 また、本業である物流サービスの向上に資する取組みは、地球環境・労務環境の両面にインパクトを創出するものと認識しており、EVトラックの導入、共同配送の創出・配送ルートの適正化、デジタルタコグラフを活用したドライバーのスキル向上(点数引上げ)も着実にすすめているほか、可児市に根差す企業として、可児市との防災協定、地元小学校での職業体験会など地域貢献活動も積極的に取り組んでいます。 今後とも、協力企業や地域とともに SDGs 推進にむけ邁進してまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 優秀な人材の確保・育成に向けた取組みにより、主に「雇用」の点におけるポジティブインパクトの創出に、物流サービスの向上に資する取組みにより主に「移動手段」の点におけるポジティブインパクトの創出に、それぞれつながったと考えられます。 当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(5) 進栄工業株式会社

事業者さまのコメント
当社は経営理念「社業の発展から地域の発展へ」の実現に向け、2023年9月期においては、客先流出不良の改善や、品質維持の根幹を担う従業員の資格取得支援などに注力しました。 今後は、協力企業とのコミュニケーションを深めながら客先流出不良の更なる改善に努めるほか、環境面からも自動車産業そして地域社会に貢献するために、脱炭素経営の実践にも挑戦してまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 客先流出不良改善の取組みにより、主に「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。 また、今後取組みを予定されている脱炭素経営の実践によっては、「気候」の点におけるネガティブインパクトの緩和が期待されます。 当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(6) 新世日本金属株式会社

事業者さまのコメント
当社は、鋼材の切断・加工を通じて交通インフラを支える傍ら、環境への影響に配慮した事業活動にも心がけており、2030年における Scope1+2 の温室効果ガス排出量を2020年比で42%削減する SBT 水準についても、太陽光発電設備の設置、LP ガス燃焼を伴わないレーザー加工・プラズマ加工への移行などの施策により、業容の拡大と排出量削減の両立の実現に努めております。 また、2023年10月には清流の国ぎふ健康経営宣言企業に登録しており、今後は、くるみん認定の取得を目指すなど、女性を含めすべての従業員が活躍できる場の創出に注力してまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 鋼材の切断・加工を通じて交通インフラを支えることで、主に「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。 また、温室効果ガス排出量の削減についても、KPI 達成に向けて順調に推移していることを確認しています。 KPI に「えるぼし認証」の取得を新たに項目として加え、来年以降も引き続きモニタリングを実施する方針です。

(7) 太陽紙工株式会社

事業者さまのコメント

当社は、「紙」の新たな可能性の追求を通じ、低コストかつ環境に配慮した商品の提供に努めております。2022 年度は、紙を使用した枕木などを開発しました。今後とも、お客さまの声に耳を傾けながら、軽量かつリサイクル性能のある紙を活用して、お客さまのお役に立てるよう努めてまいります。

また、当社としても、省エネ設備の導入をはじめ、生産プロセスにおける脱炭素化に挑戦してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

紙を使用した枕木など、環境に配慮した新たな商品開発の取組みによって、主に「廃棄物」の点におけるポジティブインパクトが創出されたと考えられます。

また、今後お取り組みを実施される省エネ設備の導入によっては、「気候」の点におけるネガティブインパクトの緩和が期待できます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(8) 株式会社ホームエージェント

事業者さまのコメント

当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 8 月期においては、積極的にお客さまからの不動産にまつわるご相談に対応するとともに、名古屋市内でデザイナーズマンションの取扱いを開始しました。加えて、名古屋市中区から名古屋市千種区へ本社移転を行い、移転後に近隣の地下鉄の駅に広告を掲載するとともに、地域のコミュニティに加入するなど、地域に根差した活動の土台作りに注力しました。

また、自社の営業車について、エコカーへ切替えするなど、環境負荷軽減にも取り組んでいます。

今後は、街おこしに資するプロジェクトに挑戦するなど、不動産に更なる新たな付加価値が付与できるよう努めてまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

顧客からの不動産の相談への対応ならびに地域に密着した活動によって、主に「住居」の面でポジティブインパクトが創出されたと考えられます。

また、営業車のエコカーの切替えにより、「気候」の面でネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(9) 株式会社ほほえみ

事業者さまのコメント
当社は、KPI 達成を通じた SDGs 貢献のための第一歩として 2023 年 12 月期においては、新サービスである「プラスワンサービス」の提供を開始するほか、健康塾、認知症講座など地域に根差したイベントに精力的に取り組んでまいりました。また、従業員満足度のために従業員に対するアンケートも継続的（月 2 回程度）実施しており、この結果を踏まえながら、研修、慰労会、バースデーイベントなど、従業員に働き甲斐を感じてもらえる取組みも行っております。2024 年度以降は、「プラスワンサービス」拡充を模索し、より多くの方の利用ニーズにお応えすることに加え、「顧客満足度アンケート」の実施に注力し、利用者さまの声にしっかり耳を傾け、「幸せな社会創り」への貢献を目指します。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 モニタリングでは、総合福祉事業者として新たなサービスの拡充に取り組まれていること、従業員アンケートの結果を踏まえた各種施策を開始されたことを確認しております。 上記の取組みにより、「健康・衛生」「雇用」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。 当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(10) 株式会社みやび

事業者さまのコメント
当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 8 月期においては、デジタルテクノロジーを活用した製品開発をすすめるなど、環境負荷低減と雅な住空間・都市空間の創出の両立を実現する取組みに注力しました。 今後は、自社工場のオートメーション化をすすめるなど、女性をはじめとした従業員の負担削減につながる労働環境を整備しつつ、医療・介護施設など社会インフラと位置づけられる商品の開発・供給に努め、持続可能な社会に貢献してまいります。
十六総合研究所のコメント
PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。 モニタリングでは、環境負荷の低減に資する製品開発に注力し、製品化に向けた具体的な取組みをされていることを確認しています。 この取組みにより、主に「住居」の点におけるポジティブインパクトの創出、「気候」の点におけるネガティブインパクトの緩和が期待されます。 また、KPI については見直しを行い、「特許件数」に代わり、「2030 年新規事業率 売上比率 75%」をあらためて設定し、来期以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(11) 名北工業株式会社

事業者さまのコメント

当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 5 月期においては、JIS 認証、ISO 認証を更新・維持するうえで、徹底的な品質管理に注力しました。また、障がい者雇用についても、同業の中堅・中小企業と比較しても高い水準を維持していると自負しています。

今後は、2025 年ビジョンである「不安なく、迷いなく、一丸となって躍進する企業」の実現に向け、従前から取り組んでいる「ヤギの除草隊」の除草範囲の創出を含め環境経営をすすめるほか、外国籍社員の積極雇用に努めてまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

徹底的な品質管理によって、高品質な製品を社会に供給することで、主に「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。

また、障がい者雇用について高い水準を維持すること、障がい者が働きやすい環境を整備することによって、「雇用」の点におけるポジティブインパクトの創出につながったと考えられます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。

(12) 株式会社山村製作所

事業者さまのコメント

当社は KPI 達成に向けた第一歩として、2023 年 7 月期においては、エコアクション 21 の更新に向けた取組みをベースとして、温室効果ガス排出量の抑制などに努めるほか、社内セミナー等を通じて従業員に対する SDGs 啓蒙を実施しました。今後は、工程内不具合率の削減を KPI に設定することで、取扱い製品の品質向上、従業員の業務効率化を実現してまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI は概ね順調に進捗しています。

温室効果ガス排出量の抑制に努めることで、「気候」の点におけるネガティブインパクトが緩和されたと考えられます。

また、今後実施を予定されている工程内不良の削減の取組みにより、取扱製品の品質向上につなげることで「インフラ」の点におけるポジティブインパクトの創出が期待されます。

KPI については、「2025 年における温室効果ガス排出量の 2022 年度比 1.5%削減」「工程内不具合率の前年比削減」をあらためて設定し、来年以降もモニタリングを行う方針です。

(13) 株式会社ロイヤル

事業者さまのコメント

経営理念「本物だけを世界から」のもとで、スポーツウェア・アパレルを中心に扱う当社は、現在、GAVIC ユニフォームをはじめとする環境配慮型商品のほか、多機能家電の取扱いに取り組んでまいりました。今後は、多様化する消費者さまのニーズにお応えしつつ、自社が取り扱うブランドを世界に発信できるよう輸出分野にも注力する予定です。また、今後も社内におけるペーパーレス化、健康経営の推進など、各種施策の実施を検討し、企業価値向上に努めてまいります。

十六総合研究所のコメント

PIF 実行時に設定した KPI の達成に向けて、各種取り組みを開始されたことを確認しました。

今後お取り組みを実施されるペーパーレス化によって「廃棄物」の点におけるネガティブインパクトの緩和が、健康経営の推進によって「雇用」の点におけるポジティブインパクトの創出がそれぞれ期待されます。

当初設定した KPI は特段の修正は行わず、来年以降も引き続きモニタリングを行う方針です。